

対象教科・科目	単位数	学年・学級
言語文化	2	2年・全クラス
使用教科書		担当者
大修館書店「新編言語文化」(言文706)		

## 1 学習計画

学期	単元名	教材の目標	考查
1	ことばと出会う 『言葉の森を育てよう』	<input type="checkbox"/> 言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。 <input type="checkbox"/> 日常使っている言葉を見つめ直す。	中間
	ことばと生きる 『祖母が笑うということ』	<input type="checkbox"/> 叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。 <input type="checkbox"/> 文章の展開のしかたや表現のしかたに着目し、文章表現を味わう。	中間
	随筆を楽しむ 『徒然草』「高名の木登り」	<input type="checkbox"/> 音読して古文の読みに慣れ、文章の内容を正確に読み取る。 <input type="checkbox"/> 作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもつ。	期末
	表現を楽しむ 『水かまきり』	<input type="checkbox"/> 文学作品の描写や会話、特徴のある表現を味わい、登場人物の人間関係や心理を読み取る。 <input type="checkbox"/> オノマトペの表現効果をとらえる。	期末
2	物語の広がり 『伊勢物語』「芥川」	<input type="checkbox"/> 登場人物の行動や場面の展開を正確に把握する。 <input type="checkbox"/> 和歌に表れた心情を読み取り、本文の中で和歌が果たしている役割を考える	中間
	意見文を書こう	<input type="checkbox"/> 自分の考えを論理的な文章にまとめて、発表する。	
	文化を見つめる 『ほどほどのデザイン』	<input type="checkbox"/> 日本のデザインに見られる独特の感性について、筆者の主張を読み取る。 <input type="checkbox"/> デザインをとおして、日本文化の特色について自分の考えを深める。	中間
	ことばと生きる 『ことばは光』	<input type="checkbox"/> 筆者の経験や、ものの見方、考え方を的確に読み取る。 <input type="checkbox"/> 読み取ったことをふまえて、自分の経験を振り返り、考えを深める。	期末
	現代に生きることば 『守株』	<input type="checkbox"/> 「株を守る」という言葉の意味について、考えを深める。 <input type="checkbox"/> この話で語られている教訓の意義を理解する。	期末
	近代文学に触れる 『夢十夜』	<input type="checkbox"/> 「株を守る」という言葉の意味について、考えを深める。 <input type="checkbox"/> この話で語られている教訓の意義を理解する。	期末
3	旅への思い 『土佐日記』	<input type="checkbox"/> 文章の展開や和歌の内容に注意して、登場人物の心情を読み取る。 <input type="checkbox"/> 作品の主題と表現の特色を理解する。	学年末
	古人に学ぶ 『論語』「巧言令色・和して同ぜず・吾が身を三省す』	<input type="checkbox"/> 『論語』の内容を正確にとらえ、学問と人生について孔子の考え方を理解する。 <input type="checkbox"/> 孔子の思想と現代との関わりについて、自分の考えを深める。	学年末
	ことばと生きる 『コルベ神父』	<input type="checkbox"/> 文章の展開のしかたを的確にとらえ、筆者の考えを理解する。 <input type="checkbox"/> 時代背景や歴史的事実をふまえながら文章を読み、内容の解釈を深める。	学年末

## 2 評価方法とその観点

評 価 方 法		
●評価の観点別（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）に評価する。 各学期の成績はそれらの評価から総合的に判断する。		
評価の観点および内容		評価方法
知識及び技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	・授業プリントの取り組み ・定期考査及び単元テストの知識、理解に関する問題 ・行動観察
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・授業プリントの取り組み ・定期考査の思考・応用問題 ・行動観察
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・学習活動への参加の仕方 や態度 ・取り組み状況と内容 ・行動観察
<p>(1) 授業への取り組み 授業に対する姿勢（質疑応答、討論などを含む）、学習態度、国語への関心等で判断する。 評価の観点のうち、特に主体的に取り組む態度の項目を評価する。</p> <p>(2) 授業プリントの取り組み 自ら考えて記述しているか、論理的な思考ができているかなどを評価する。</p> <p>(3) 言語活動 話すこと、聞くこと、書くこと、読むことの言語活動を行う。言語活動に対する姿勢、準備や考察、発表、作成物などから評価する。</p> <p>(4) 定期テスト・単元テスト 定期テストでは、評価の観点のうち、知識・技能、思考・判断・表現に関する部分が最も大きい。 また、単元毎に、単元テストも実施する場合もある。</p>		